# 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人群馬大学

- (2) 大 学 名 群馬**大**学
- (3) 大学の位置

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

#### (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(フリガナ)	(フリガナ)	
理 事 長	氏 名	氏 名	
	(現職就任年月)	(現職就任年月)	
	(ヒラツカ ヒロシ)		
学 長	平 塚 浩 士		
	(平成27年4月)		
	(トミヤマ ヨシノリ)	(カキモト トシカツ)	
学 部 長	富山慶典	柿 本 敏 克	任期満了(29)
	(平成27年4月)	(平成29年4月)	
	(タカヤマ トシヒロ)		
学科長等	高山利弘		
	(平成28年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

# (5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等,定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

# (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1/用 行
社会情報学部 社会情報学科	社会学·社会 福祉学関係 法学関係	年 4	100	年次 人 3年次 20人	人 440	
学士 (社会情報学)	経済学関係					

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

#### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超過率	ᄱ
A 入学定員	一人一人	人 一人	人 一人	人 一人 100 ( 20 )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
志願者数	-	385 — ( — ) ( — ) [ 5 ] [ — ]	442 — ( – ) ( – ) [ 4 ] [ – ]	449 — ( 57 ) ( — ) [ — ]		
受験者数	( - ) ( - ] [ - ]	269 — ( — ) ( — ) [ 3 ] [ — ]	332 — ( — ) ( — ) [ 3 ] [ — ]	329 — ( 57 ) ( — ) [ 7 ]	1. 03倍	
合格者数		123 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	116 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	129 — ( 36 ) ( — ) [ 2 ] [ — ]		
B 入学者数		100 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	109 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	102 — ( 31 ) ( — ) [ 1 ] [ — ]		
入学定員超過率 B/A	_	1	1. 09	1. 02		

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について<u>内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については,<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員,入学者数で算出</u>して ください。なお,計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て,小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

# (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	7 年度	平成2	8年度	平成2	9 年度	平成 3	0年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		与
		_	_	100	_	109	_	102	_		
	1 年次	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]		
		( – )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )		
				_	_	99	_	109	_		
	2年次			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
				( - )	( - )	( - )	( – )	( - )	( - )		
						_	_	130	_	<ul><li>平成30年度3</li></ul>	年次の春季入
	3年次					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	学欄130人には 名を含む。	,編入学生31
						( - )	( - )	( - )	( – )	12100	
								_	_		
	4 年次							[ - ]	[ - ]		
								( - )	( - )		
		_	-	10	00	20	08	34	41		
	計	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]		1 ]		
		( -	- )	( -	- )	( -	- )	( -	– )		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について<u>内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。),短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・() 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

#### (5) -4 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳		主な退学理由
対象年度	L ] 1 3 (0)		入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度		- 大	
平成28年度	100 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	
十成20千度	100 X	1 X	平成28年度	1 人	0 人	進路変更
			平成27年度	0 人	0 人	
平成29年度	208 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成30年度	341 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
十成50年度	341 人		平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	649 人	1人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
  - ・ 内訳については、 退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、 <u>退学者数の内数</u>を記入してください。
  - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学・海外留学・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

#### (5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

【平成29年度】

# 平成27年度の退学者数(a) = 0 = % 平成27年度の在学者数(b) = 0 = % 「平成28年度の退学者数(a) = 1 % 平成28年度の在学者数(b) 100 = 1 %

# 平成29年度の退学者数(a) = 0 = 0 平成29年度の在学者数(b) 208 = 0 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 2 授業科目の概要

# <社会情報学部 社会情報学科>

# (1)一① 授業科目表

# 【認可時又は届出時】

# 【平成30年度】

	忍可時又は届出	可』											平成30年度】										
44 F		配业		单位数				員等	の配	置	兼 任	£4 F		配业	È	单位数				員等	の配		兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担	科目区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
	学びのリテラシー (1)	1前		2		4							学びのリテラシー (1)	1前		2		2	1				
教	学びのリテラシー (2)	1後		2		3	3				46	教	学びのリテラシー (2)	1後		2		4	2				50
養基	英語	1•2 前·後		1		1	2				4	養基	英語	1•2 前·後		1		1	2				4
盤科目	スポーツ・健康	1 前·後		3							11	料目	スポーツ・健康	1 前·後		3							13
	情報	1前		2		2							情報	1前		2		1	1				
	就業力	1前		2		2							就業力	1前		2		1					
	人文科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2					12		人文科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2					16
教	社会科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		3	3				11	教	社会科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2	2				8
養育	自然科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2	1				13	養育	自然科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2					16
成科目	健康科学科目群	1·2 3·4 前·後		2							17	成科目	健康科学科目群	1·2 3·4 前·後		2							16
	外国語教養科目 群	1·2 3·4 前·後		1			1				11		外国語教養科目 群	1·2 3·4 前·後		1							19
	総合科目群	1·2 3·4 前·後		2		1	1				16		総合科目群	1·2 3·4 前·後		2		2	2				33
コア科目・	社会情報学基礎論	1前	2			2	1	1				コア科目	社会情報学基礎論	1前	2			2	2				
·入門科目	情報社会基礎論	1後	2					1				· 入門科目	情報社会基礎論	1後	2				1				

		配	<u> j</u>	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任			配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
コア科目	情報メディア基礎論	1後	2					1				コア科目	情報メディア基礎論	1後	2				1				
・メディ	マスメディア論	2前	2				1					・メディ	マスメディア論	2前	2				1				
ア科目	ソーシャルメディア 論	2後	2					1				ア 科目	ソーシャルメディア 論	2後	2				1				
コア科目	社会学的コミュニケーション基礎論	1後		2		1						コ ア 科	社会学的コミュニケーション基礎論	1後		2		1					
目・コミュニ	心理学的コミュニ ケーション基礎論	1後		2		1						目・ロミュニ	心理学的コミュニ ケーション基礎論	1後		2		1					
ケーショ	異文化コミュニ ケーション基礎論	2前		2							1	ケーショ	異文化コミュニ ケーション基礎論	2前		2		1					
科目	マス・コミュニケー ション基礎論	2後		2			1					科目	マス・コミュニケー ション基礎論	2後		2			1				
コア科	情報と職業	2前	2				1					コア科	情報と職業	2前	2				1				
科目·情報科目	情報社会と人権	2後	2				1					目	情報社会と人権	2後	2				1				
目目	情報倫理	2後	2								1	目目	情報倫理	2後	2			1					

		配	ì	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任	ĺ			配	È	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	研究方法基礎論	1前		択	由	授	授	<u>師</u> 1	<u>教</u>	手	担			研究方法基礎論	1前		択	由	<u>授</u>	·授 1	師	<u>教</u>	手	<u>担</u>
サー	研究方法A(事例 研究法)	1後		2			1						サー	研究方法A(事例 研究法)	1後		2			1				
チスキル科目	研究方法B(文献 研究法)	2前		2		2							チスキル科目	研究方法B(文献 研究法)	2前		2		2					
· 研	研究方法C(サーベ イ・アンケート研究法)	1後		2				1						 研究方法C(サーベ イ・アンケート研究法)	1後		2			1				
科日	研究方法D(実験 研究法)	2前		2		1								研究方法D(実験 研究法)	2前		2		1					
	研究方法E(オペレー ションズ・リサーチ)	2前		2		1								研究方法E(オペレー ションズ・リサーチ)	2前		2		1					
	基礎数学A	1前		2							1			基礎数学A	1前		2							1
リサ	基礎数学B	1前		2							1		リサ	基礎数学B	1後		2			1				
	データ解析基礎 (統計学)	1後	2					1					ソー チスキル	データ解析基礎(統計学)	1後	2				1				
八科目・デー	データ解析A(応用 統計学)	2前		2				1					八科目・デー	データ解析A(応用 統計学)	2前		2			1				
- タ解析科目	データ解析B(多変 量解析)	2後		2							1		- タ解析科目	データ解析B(多変 量解析)	2後		2			1				
群	データ解析C(回帰 分析)	2後		2			1						群	データ解析C(回帰 分析)	2後		2			1				
	データ解析D(データマイニング)	2後		2			1							データ解析D(データマイニング)	2後		2			1				
	1																							Ш

- L -		配	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	• 兼
	情報処理基礎	1後		_ 択	由	担 1	·授	師	<u>教</u>	1	担
	プログラミング1	1後	2			1	1			1	1
	情報の数理	2前	2			1	1				
リサー	情報基盤1	2前	2			1					1
チスキル科	記号倫理学	2前		2		1					
目情報	プログラミング2	2前		2			1				
処理スキル科目	データ構造とアル ゴリズム	2後		2			1				
群	データベース	2後		2			1				
	コンピュータシステム	3前		2		1					
	情報基盤2	3前		2		1					1
	情報セキュリティ	3後		2		1	1				

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	情報処理基礎	1後	2			1	1			1	
	プログラミング <mark>I</mark>	1後	2			2				1	
	情報の数理	2前	2				1				
リサー	情報基盤【	2前	2			1					1
サー チスキル科	記号倫理学	2前		2							1
目 ・ 情	プログラミング <mark>Ⅱ</mark>	2前		2		1					
報処理スキルが	データ構造とアル ゴリズム	2後		2			1				
科目群	データベース	2後		2		1					
	コンピュータシステム	3前		2		1					
	情報基盤Ⅱ	3前		2		1					1
	情報セキュリティ	3後		2		1					

T-1		配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	専門外国語 I -A (ディスカッション・ディ ベート)	2前		2							1
	専門外国語 I -B (ライティング)	2前		2							1
	専門外国語 I -C (リスニング)	2前		2							1
コミュニケ	専門外国語 I -D (ビジネス・イングリッ シュ)	2前		2							1
コミュニケーションス	専門外国語 I -E (TOEIC/TOEFL)	2前		2							1
キル科目・	集中英語	1後		2							1
外国語コミ	専門外国語 Ⅱ -A (原書講読)	2後		2		1					
コミュニケーショ	専門外国語 II -B (原書講読)	2後		2			1				
ョン科目	専門外国語 Ⅱ -C (原書講読)	2後		2			1				
	専門外国語Ⅱ-D (原書講読)	2後		2							1
	専門外国語 Ⅱ-E (原書講読)	2後		2							1
	専門英語短期派 遣	2後		2							1

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	専門外国語 I -A (ディスカッション・ディ ベート)	2前		2							1
	専門外国語 I -B (ライティング)	2前		2							1
	専門外国語 I -C (リスニング)	2前		2							1
コミュニケ	専門外国語 I -D (ビジネス・イングリッ シュ)	2前		2							1
コミュニケーションスキ	専門外国語 I -E (TOEIC/TOEFL)	2前		2							1
キ ル 科 目・	集中英語	1後		2							1
外国語コミ	専門外国語 Ⅱ -A (原書講読)	2後		2		1					
コミュニケーション科目	専門外国語Ⅱ-B (原書講読)	2後		2			1				
ノョン科目	専門外国語Ⅱ-C (原書講読)	2後		2			1				
	専門外国語 II -D (原書講読)	2後		2							1
	専門外国語Ⅱ-E (原書講読)	2後		2							1
	専門英語短期派 遣	1·2 3·4 前·後		2		1	2				

		配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼 任				配	単	单位数	攵	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼	科   区 2	日分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
		<u>Д</u>	修	択	由	授	授	師	教	手	担				- 人	修	択	由	授	授	師	教	_手	担
П т II	プレゼンテーション	3前		2			1						` 1	プレゼンテーション	3前		2			1				
ーケー ション	論理的日本語表 現	2後		2		2						-ケーション	r / =	論理的日本語表 現	2後		2		2					
ス	非言語コミュニ ケーション	3前		2							1	ンズキル科目	ステレ斗	非言語コミュニ ケーション	3前		2							1
-	イラストレーション デザイン	2後		2							1	l・表現スキ	・長見く	イラストレーション デザイン	2後		2							1
ル科	動画·音声編集	3前		2							1	ル 科 目	レ 斗	動画∙音声編集	3前		2							1
	社会情報学プロ ジェクトA-1	2後		2		1								社会情報学プロ ジェクトA- <b>I</b>	2後		2		1	1				
ジェ	社会情報学プロ ジェクトA-2	2後		2		2	1					プロジェ	] ジ [	社会情報学プロ ジェクトA- <mark>II</mark>	2後		2		1					
	社会情報学プロ ジェクトA-3	2後		2			1					クト科目	、 斗	社会情報学プロ ジェクトA− <mark>Ⅲ</mark>	2後		2			1				
	社会情報学プロ ジェクトB	3前		2		2	1							社会情報学プロ ジェクトB	3前		2		1	3				1
	社会学的コミュニケーション論	2後		2		1								社会学的コミュニ ケーション論	2後		2		1					
ディレク	心理学的コミュニ ケーション論	2前		2		1						ティレク	1	心理学的コミュニ ケーション論	2前		2		1					
ション科目	異文化コミュニ ケーション論	3後		2							1	ション科目	ョ ノ 斗	異文化コミュニ ケーション論	3後		2		1					
ディア	現代文化とメディア	3前		2			1					・ メ デ ィ ア・	ř í	現代文化とメディ ア	3前		2			1				
と文化	身体メディア論	3後		2		1						文化	5 比	身体メディア論	3後		2		1					
	言語メディア論A	3前		2		1								言語メディア論A	3前		2		1					
	<u>I</u>				<u> </u>		<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>														

		配	į	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼 任				配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 教 授	講	助	助	兼	科 区	目分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准 教 授	講	助	助	兼担
	憲法Ⅰ	2前	<u>修</u>	2	曲	<u>授</u>	1 1	師	数	手	<u>担</u>	_		憲法 I	2前	<u>修</u>	2	曲	<u>授</u>		師	教	<u>手</u>	<u>担</u>
ディレ	情報法I	2前		2			1					5	1	情報法 I	2前		2			1				
クション科目	政府情報システム論	2後		2			1					ころション和目	ウンョ ノ	政府情報システム論	2後		2			1				
口・公務と法律	行政法 I	2前		2		1						· 2 和 と 治		行政法 I	2前		2		1					
法律	政策情報論	2後		2			1					行	# I	政策情報論	2後		2			1				
	情報政治学	2後		2							1			情報政治学	2後		2					1		
	会計学 I	2後		2			1							会計学 I	2後		2			1				
ディレ	現代経済入門	2前		2			1					7	1	現代経済入門	2前		2			1				
クション科目	経済情報論	2前		2			1					7 5	ウンョ ノ	経済情報論	2前		2			1				
目・経済と経営	経営学 I	2前		2			1					目・糸沢と糸営	.	経営学 I	2前		2			1				
経営	経営科学 I	2前		2		1						糸営	圣堂	経営科学 I	2前		2		1					
	経営情報論 I	2前		2		1								経営情報論 I	2前		2			1				

		配	È	单位数	女	専	任教	:員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年 次	必	選	自 .	教	准 教	講	助	助	• 兼
	社会心理学	3前	修	2	曲	授 1	授	師	教	手	担
	社会倫理 I	3前		2		1					
	社会倫理Ⅱ	3後		2		1					
	地域社会生活論	2前		2		1					
	地域社会生活論 Ⅱ	2後		2		1					
	理論社会学 I	2前		2		1					
	理論社会学Ⅱ	2後		2		1					
<b>á</b>	意思決定科学	2前		2			1				
自由選択科目	集合的選択論	2後		2		1					
· 視 点	環境アセスメント	3前		2		2					
領域	環境アセスメント 実習 I	3前		1		2					
	環境アセスメント 実習 II	3後		1		2					
	環境科学演習	2前		1		2					1
	環境政策	3後		2		3	1				
	環境政策実習	3後		1		2					
	自然環境論	2前		2							1
	人間環境論	3前		2		1					
	生物環境論	2後		2		1					

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	配当年·	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	社会心理学	3前		2		1					
	社会倫理 I	3前		2		1					
	社会倫理Ⅱ	3後		2		1					
	地域社会生活論 I	2前		2		1					
	地域社会生活論 Ⅱ	2後		2		1					
	理論社会学 I	2前		2		1					
	理論社会学Ⅱ	2後		2		1					
	意思決定科学	2前		2		1					
自由選択科目	集合的選択論	2後		2		1					
日・視点領域	環境アセスメント	3前		2		2					1
域	環境アセスメント 実習 I	3前		1		2					
	環境アセスメント 実習 II	3後		1		2					
	環境科学演習	2前		1		2					1
	環境政策	3後		2		3					1
	環境政策実習	3後		1		2					
	自然環境論	2前		2							1
	人間環境論	3前		2		1					
	生物環境論	2後		2							1

<b>14</b> E		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
自由選択科目・ディレクション領域(メディアと文化 )	言語メディア 言語メディア 言語・ウョン コ論 I コ論 I エーケー 地域メディア 地域メディア 地域メディア	3後 2前 3前		2 2 2		1	1				

14 F		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
自由選択科目・ディレクション領域(メディアと文化 )	言語メディア 語 語 が が の が の が の の の の の の の の の の の の の	3後 2前 3前		2 2 2		1	1				

科目		配业		单位数	女		任教			置	兼任
区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼 担
	環境法 I	3前		2		1					
	環境法Ⅱ	3後		2		1					
	企業法	3前		2							1
	刑法	3前		2							1
	経済法·知的財産 法 I	2後		2			1				
	経済法·知的財産 法 II	3前		2			1				
	憲法Ⅱ	2後		2			1				
自由	公共政策論	2前		2			1				
自由選択科目・	公法ケース・スタディ (事例・判例研究)	3後		1		1	1				
ディレク	行政学 I	2前		2			1				
レクション	行政学Ⅱ	2後		2			1				
1領域(公	行政法Ⅱ	2後		2		1					
務と法	情報社会と私法	3前		2		1					
·律 )	情報法Ⅱ	2後		2			1				
	政策分析	2後		2			1				
	地方自治A(伝統と 改革)	3前		2			1				
	地方自治B(研究と 事例)	3前		2			1				
	民法 I	2前		2		1					
	民法Ⅱ	2後		2		1					
	民法Ⅲ	3前		2		1					
	民法Ⅳ	3後		2		1					

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
		У.	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	環境法 I	3前		2		1					
	環境法Ⅱ	3後		2		1					
	企業法	3前		2							1
	刑法	3前		2							1
	経済法·知的財産 法 I	2後		2			1				
	経済法•知的財産 法 Ⅱ	3前		2			1				
	憲法Ⅱ	2後		2			1				
自由選択科目	公共政策論	2前		2			1				
_	公法ケース・スタディ (事例・判例研究)	3後		1			1				
・ディレクション領域	行政学 I	2前		2			1				
ション領	行政学Ⅱ	2後		2			1				
	行政法Ⅱ	2後		2		1					
(公務と法律	情報社会と私法	3前		2		1					
1 <del>=</del> ·	情報法Ⅱ	2後		2			1				
	政策分析	2後		2			1				
	地方自治A(伝統と 改革)	3前		2			1				
	地方自治B(研究と 事例)	3前		2			1				
	民法 I	2前		2		1					
	民法Ⅱ	2後		2		1					
	民法Ⅲ	3前		2		1					
	民法Ⅳ	3後		2		1					

<b>1</b>		配业	È	单位数	汝			員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼 担
	マクロ経済学	2後	<u>修</u>	2	曲	授	授	師	<u>教</u>	手	担
	ミクロ経済学	2後		2							1
	会計学Ⅱ	2後		2			1				
自由選択科目	金融論	2後		2							1
	経営科学Ⅱ	2後		2		1					
・ディレクション領域	経営学Ⅱ	2前		2			1				
域(経済と経営	経営情報論Ⅱ	2前		2		1					
経営)	経営戦略論	2前		2		1					
	経営組織論	3前		2			1				
	国際経営論	2後		2		1					
	生活経済政策	2後		2			1				

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	マクロ経済学	2後		2							1
	ミクロ経済学	2後		2							1
	会計学Ⅱ	<b>3</b> 後		2			1				
自由選択る	金融論	2後		2							1
付目・ディ	経営科学Ⅱ	2後		2		1					
自由選択科目・ディレクション領域	経営学Ⅱ	<b>3</b> 前		2			1				
へ 経	経営情報論Ⅱ	<b>3</b> 前		2							1
済と経営)	経営戦略論	2前		2		1					
	経営組織論	3前		2			1				
	国際経営論	2後		2							1
	生活経済政策	2後		2			1				

		配	į	単位数	数	専	任教	[員等	の配	置	兼 任			配	<u>1</u>	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助
-		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			火	修	択	由	授	授	師	教	手
自由	社会に学ぶ	1後 ~ 3後		2		1						自由	社会に学ぶ	1後 ~ <b>4</b> 後		2		1				
自由選択科目・	仕事の現場を知る A(現代金融システ ム論)	2前		2		1					7	選 択 科 目	仕事の現場を知る A(現代金融システ ム論)	2前 • <b>後</b>		2		1				
キャリア教育科	仕事の現場を知る B(マスコミ論)	2後		2		1					3		仕事の現場を知る B(マスコミ論)	2前 • <b>後</b>		2		2				
科目	仕事の現場を知る C(情報通信ネット ワーク)	2前		2		1					1	IН	仕事の現場を知る C(情報通信ネット ワーク)	2前 • <b>後</b>		2		1				
Á	社会情報学特別 講義A	2前 ~ 3後		2							1		社会情報学特別 講義A	1前 ~ 4後		2						
自由選択科目	社会情報学特別 講義B	2前 ~ 3後		2							1	自由選択科目	社会情報学特別 講義B	1前 ~ 4後		2						
・特別講義科目	社会情報学特別 講義C	2前 ~ 3後		2							1	講 義 科	社会情報学特別 講義C	1前 ~ 4後		2						
	社会情報学特別 講義D	2前 ~ 3後		2							1	目	社会情報学特別 講義D	1前 ~ 4後		2						
社会情報学ゼミ	社会情報学ゼミ	3通	4			14	10	2				社会情報学ゼミ	社会情報学ゼミ	3通	4			14	14		1	
卒業研究	卒業研究	4通	4			14	10	2				卒業研究	卒業研究	4通	4			14	14		1	

# 【平成28年度】

# 【平成29年度】

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任			配	Ĕ	单位数	<b>汝</b>	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	兼	科目区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	• 兼
	学びのリテラシー (1)	1前		2		2	1	H <sub>1</sub> h	ŦX		1 <del></del>		学びのリテラシー (1)	1前		2	<u> </u>	2	1	Tub.	72	1	
教	学びのリテラシー (2)	1後		2		4	2				50	教	学びのリテラシー (2)	1後		2		3	2				49
養基盤	英語	1•2 前·後		1		1	1				5	養基盤	英語	1•2 前·後		1		1	2				5
科目	スポーツ・健康	1 前·後		3							11		スポーツ・健康	1 前·後		3							13
	情報	1前		2		2							情報	1前		2		2					
	就業力	1前		2		1	1						就業力	1前		2		1					
	人文科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2					16		人文科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2					16
教	社会科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2	3				11	教	社会科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2	2				8
養育	自然科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		1	1				24	養育	自然科学科目群	1·2 3·4 前·後		2		2					12
成科目	健康科学科目群	1·2 3·4 前·後		2							18	科目	健康科学科目群	1·2 3·4 前·後		2							25
	外国語教養科目 群	1·2 3·4 前·後		1			1				14		外国語教養科目 群	1·2 3·4 前·後		1							16
	総合科目群	1·2 3·4 前·後		2		1	1				29		総合科目群	1·2 3·4 前·後		2			1				33
コア科目・	社会情報学基礎論	1前	2			1	1	1				コ ア 科 目・	社会情報学基礎論	1前	2			2	1	1			
入門科目	情報社会基礎論	1後	2					1				入 門 科 目	情報社会基礎論	1後	2					1			

		配	į	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任			配	<u>ì</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
コア科目	情報メディア基礎論	1後	2					1				コア科目	情報メディア基礎 論	1後	2					1			
・メディ	マスメディア論	2前	2				1					1・メディ	マスメディア論	2前	2				1				
ア科目	ソーシャルメディア 論	2後	2					1				ア 科目	ソーシャルメディア 論	2後	2					1			
コア科目	社会学的コミュニケーション基礎論	1後		2		1						コ ア 科	社会学的コミュニケーション基礎論	1後		2		1					
目・ロミュニ	心理学的コミュニ ケーション基礎論	1後		2		1						目・ロミュニ	心理学的コミュニ ケーション基礎論	1後		2		1					
ケーショ	異文化コミュニ ケーション基礎論	2前		2							1	ケーショ	異文化コミュニ ケーション基礎論	2前		2							1
科目	マス・コミュニケー ション基礎論	2後		2			1					シ 科 目	マス・コミュニケー ション基礎論	2後		2			1				
コア	情報と職業	2前	2				1					コア科	情報と職業	2前	2				1				
科目•情報科目	情報社会と人権	2後	2				1					科目・情報科目	情報社会と人権	2後	2				1				
目	情報倫理	2後	2								1	科   目	情報倫理	2後	2								1
1	]																						ı

		配	ì	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任	ĺ			配	È	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	• 兼		科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	• 兼
	研究方法基礎論	1前	8 2	択	由	<u>授</u>	授	師	<u>教</u>	手	担 1			研究方法基礎論	1前		択	由	<u>授</u>	授 1	<u> </u>	<u>教</u>	手	<u>担</u>
サー	研究方法A(事例 研究法)	1後		2			1						サー	研究方法A(事例 研究法)	1後		2			1				
チスキル科目	研究方法B(文献 研究法)	2前		2		2							チスキル科目	研究方法B(文献 研究法)	2前		2		2					
	研究方法C(サーベ イ・アンケート研究法)	1後		2				1						研究方法C(サーベ イ・アンケート研究法)	1後		2			1				
科日	研究方法D(実験 研究法)	2前		2		1								研究方法D(実験 研究法)	2前		2		1					
	研究方法E(オペレー ションズ・リサーチ)	2前		2		1								研究方法E(オペレー ションズ・リサーチ)	2前		2		1					
	基礎数学A	1前		2							1			基礎数学A	1前		2							1
リサ	基礎数学B	1前		2							1		IJ サ	基礎数学B	1前		2							1
	データ解析基礎 (統計学)	1後	2					1					· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	データ解析基礎 (統計学)	1後	2				1				
1科目・デー	データ解析A(応用 統計学)	2前		2				1					1科目・デー	データ解析A(応用 統計学)	2前		2			1				
- タ解析科目	データ解析B(多変 量解析)	2後		2							1		- タ解析科目	データ解析B(多変 量解析)	2後		2			1				
群	データ解析C(回帰 分析)	2後		2			1						群	データ解析C(回帰 分析)	2後		2			1				
	データ解析D(デー タマイニング)	2後		2			1							データ解析D(データマイニング)	2後		2			1				
	<u> </u>																							Ш

T-1 -		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	情報処理基礎	1後	2			1				1	
	プログラミング <mark>I</mark>	1後	2			1	1			1	1
	情報の数理	2前	2			1	1				
リサー	情報基盤【	2前	2			1					1
サー チスキル科	記号倫理学	2前		2		1					
科目・情報の	プログラミング <mark>Ⅱ</mark>	2前		2			1				
処理スキルな	データ構造とアル ゴリズム	2後		2			1				
ル科目群	データベース	2後		2			1				
	コンピュータシステ ム	3前		2		1					
	情報基盤Ⅱ	3前		2		1					1
	情報セキュリティ	3後		2		1	1				

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	情報処理基礎	1後	2			1				1	
	プログラミング <mark>I</mark>	1後	2			2				1	1
	情報の数理	2前	2				1				
リサー	情報基盤【	2前	2			1					1
サー チスキル科	記号倫理学	2前		2							1
科目・情報の	プログラミング <mark>Ⅱ</mark>	2前		2		1					
処理スキルが	データ構造とアル ゴリズム	2後		2			1				
科目群	データベース	2後		2		1					
	コンピュータシステ ム	3前		2		1					
	情報基盤Ⅱ	3前		2		1					1
	情報セキュリティ	3後		2		1					

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	専門外国語 I -A (ディスカッション・ディ ベート)	2前		2							1
	専門外国語 I -B (ライティング)	2前		2							1
	専門外国語 I -C (リスニング)	2前		2							1
コミュニケ	専門外国語 I -D (ビジネス・イングリッ シュ)	2前		2							1
コミュニケー ションスキ	専門外国語 I -E (TOEIC/TOEFL)	2前		2							1
ル科目・	集中英語	1後		2							1
外国語コミ	専門外国語 II -A (原書講読)	2後		2		1					
コミュニケーシ	専門外国語Ⅱ-B (原書講読)	2後		2			1				
ション科目	専門外国語Ⅱ-C (原書講読)	2後		2			1				
	専門外国語Ⅱ-D (原書講読)	2後		2							1
	専門外国語Ⅱ-E (原書講読)	2後		2							1
	専門英語短期派 遣	1·2 3·4 前·後		2							1

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	配当年	必	選	自	教	准	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
	専門外国語 I -A (ディスカッション・ディ ベート)	2前		2							1
	専門外国語 I -B (ライティング)	2前		2							1
	専門外国語 I -C (リスニング)	2前		2							1
コミュニケ	専門外国語 I -D (ビジネス・イングリッ シュ)	2前		2							1
コミュニケー ションスキ	専門外国語 I -E (TOEIC/TOEFL)	2前		2							1
キル科目・	集中英語	1後		2							1
外国語コミ	専門外国語Ⅱ-A (原書講読)	2後		2		1					
コミュニケー ション科目	専門外国語Ⅱ-B (原書講読)	2後		2			1				
ョン科目	専門外国語Ⅱ-C (原書講読)	2後		2			1				
	専門外国語 Ⅱ-D (原書講読)	2後		2							1
	専門外国語Ⅱ-E (原書講読)	2後		2							1
	専門英語短期派 遣	1·2 3·4 前·後		2		1	2				

		配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼 任				配	単	单位数	攵	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼	科 E 区 2	日分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
			修	択	由	授	授	師	教	手	担				<u>Д</u>	修	択	由	授	授	師	教	手	担
П // п	プレゼンテーション	3前		2			1						.   L	プレゼンテーション	3前		2			1				
ーケーション	論理的日本語表 現	2後		2		2						ーケー ション	- ' !	論理的日本語表 現	2後		2		2					
ス	非言語コミュニ ケーション	3前		2							1	ノスキル科目	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	非言語コミュニ ケーション	3前		2							1
-	イラストレーション デザイン	2後		2							1	、 表 現 ス キ	長.	イラストレーション デザイン	2後		2							1
ル 科目	動画·音声編集	3前		2							1	ル 科 目	<b>,</b>	動画·音声編集	3前		2							1
	社会情報学プロ ジェクトA-I	2後		2		1							;	社会情報学プロ ジェクトA- <mark>I</mark>	2後		2		1	1				
ジェ	社会情報学プロ ジェクトA-Ⅱ	2後		2		2	1					ブロジェ	1   <sup>7</sup>	社会情報学プロ ジェクトA- <mark>I</mark>	2後		2		1					
	社会情報学プロ ジェクトA- <mark>II</mark>	2後		2			1					ク ト 料 目	·  -	社会情報学プロ ジェクトA− <mark>Ⅲ</mark>	2後		2			1				
	社会情報学プロ ジェクトB	3前		2		2	1							社会情報学プロ ジェクトB	3前		2			1				
	社会学的コミュニ ケーション論	2後		2		1								社会学的コミュニ ケーション論	2後		2		1					
ディレク	心理学的コミュニ ケーション論	2前		2		1						ディレク	,	心理学的コミュニ ケーション論	2前		2		1					
シ	異文化コミュニ ケーション論	3後		2							1	ション科目	/ 	異文化コミュニ ケーション論	3後		2							1
・メディア	現代文化とメディア	3前		2			1					・ メ デ ィ ア	· -	現代文化とメディ ア	3前		2			1				
と文化	身体メディア論	3後		2		1						文化		身体メディア論	3後		2		1					
	言語メディア論A	3前		2		1								言語メディア論A	3前		2		1					
	<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>	· L																

<b>1</b> 1 D		配		単位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任	<b>1</b> /10		配	<u>i</u>	单位数	汝		任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由		准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担	科 E 区 S	、 授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
	憲法Ⅰ	2前		2			1						憲法 I	2前		2			1				
ディ	情報法I	2前		2			1					ディ	情報法I	2前		2			1				
レクション科目	政府情報システム論	2後		2			1					レクション科	政府情報システム論	2後		2			1				
目・公務と法律	行政法 I	2前		2		1						目・公務と法	行政法 I	2前		2		1					
法律	政策情報論	2後		2			1					注	政策情報論	2後		2			1				
	情報政治学	2後		2							1		情報政治学	2後		2							1
	会計学 I	2後		2			1						会計学 I	2後		2			1				
ディレ	現代経済入門	2前		2			1					ディレ	現代経済入門	2前		2			1				
クション	経済情報論	2前		2			1					レクション科	経済情報論	2前		2			1				
科目・経済-	経営学 I	2前		2			1					科目・経済-	経営学 I	2前		2			1				
経済と経営	経営科学Ⅰ	2前		2		1						経済と経営	経営科学I	2前		2		1					
	経営情報論 I	2前		2		1							経営情報論I	2前		2							1

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
	社会心理学	3前	<u>修</u>	2	由	授 1	授	師	_ 教_	手	担
	社会倫理 I	3前		2		1					
	社会倫理Ⅱ	3後		2		1					
	地域社会生活論	2前		2		1					
	地域社会生活論	2後		2		1					
	理論社会学 I	2前		2		1					
	理論社会学Ⅱ	2後		2		1					
l h	意思決定科学	2前		2			1				
自由選択科目	集合的選択論	2後		2		1					
1・視点領域	環境アセスメント	3前		2		2					
域	環境アセスメント 実習 I	3前		1		2					
	環境アセスメント 実習 II	3後		1		2					
	環境科学演習	2前		1		2					1
	環境政策	3後		2		3	1				
	環境政策実習	3後		1		2					
	自然環境論	2前		2							1
	人間環境論	3前		2		1					
	生物環境論	2後		2		1					

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科 E 区 5	目 授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
<u> </u>		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	社会心理学	3前		2		1					
	社会倫理 I	3前		2		1					
	社会倫理Ⅱ	3後		2		1					
	地域社会生活論 I	2前		2		1					
	地域社会生活論 Ⅱ	2後		2		1					
	理論社会学 I	2前		2		1					
	理論社会学Ⅱ	2後		2		1					
自	意思決定科学	2前		2		1					
自由選択科目	集合的選択論	2後		2		1					
視点領	! 環境アセスメント ! は ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	3前		2		2					
域	記 環境アセスメント 実習 I	3前		1		2					
	環境アセスメント 実習 Ⅱ	3後		1		2					
	環境科学演習	2前		1		2					1
	環境政策	3後		2		3					1
	環境政策実習	3後		1		2					
	自然環境論	2前		2							1
	人間環境論	3前		2		1					
	生物環境論	2後		2							1

£1 =		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講師	助教	助手	· 兼 担
自由選択科目・ディレクション領域(メディアと文化 )	言語メディア論B 言語学的コミュニケーション論 I 言語学のコミュエケーション論 I が対対が	3後 2前 3前		2 2 2		1	1				

14 F		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
自由選択科目・ディレクション領域(メディアと文化 )	言語メディア 語 語 が が の が の が の の の の の の の の の の の の の	3後 2前 3前		2 2 2		1	1				

科目		配业		单位数	女		任教			置	兼任
区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	· 兼 担
	環境法 I	3前		2		1					
	環境法Ⅱ	3後		2		1					
	企業法	3前		2							1
	刑法	3前		2							1
	経済法·知的財産 法 I	2後		2			1				
	経済法·知的財産 法 II	3前		2			1				
	憲法Ⅱ	2後		2			1				
自由	公共政策論	2前		2			1				
自由選択科目・	公法ケース・スタディ (事例・判例研究)	3後		1		1	1				
ディレク	行政学 I	2前		2			1				
レクション	行政学Ⅱ	2後		2			1				
1領域(公	行政法Ⅱ	2後		2		1					
務と法	情報社会と私法	3前		2		1					
·律 )	情報法Ⅱ	2後		2			1				
	政策分析	2後		2			1				
	地方自治A(伝統と 改革)	3前		2			1				
	地方自治B(研究と 事例)	3前		2			1				
	民法 I	2前		2		1					
	民法Ⅱ	2後		2		1					
	民法Ⅲ	3前		2		1					
	民法Ⅳ	3後		2		1					

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	兼
		У.	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	環境法 I	3前		2		1					
	環境法Ⅱ	3後		2		1					
	企業法	3前		2							1
	刑法	3前		2							1
	経済法·知的財産 法 I	2後		2			1				
	経済法•知的財産 法 Ⅱ	3前		2			1				
	憲法Ⅱ	2後		2			1				
自由選択科目	公共政策論	2前		2			1				
_	公法ケース・スタディ (事例・判例研究)	3後		1			1				
・ディレクション領域	行政学 I	2前		2			1				
ション領	行政学Ⅱ	2後		2			1				
	行政法Ⅱ	2後		2		1					
(公務と法律	情報社会と私法	3前		2		1					
1 <del>=</del> ·	情報法Ⅱ	2後		2			1				
	政策分析	2後		2			1				
	地方自治A(伝統と 改革)	3前		2			1				
	地方自治B(研究と 事例)	3前		2			1				
	民法 I	2前		2		1					
	民法Ⅱ	2後		2		1					
	民法Ⅲ	3前		2		1					
	民法Ⅳ	3後		2		1					

		配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教	講	助	助	-
		火	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	マクロ経済学	2後		2							1
	ミクロ経済学	2後		2							1
	会計学Ⅱ	2後		2			1				
自由選択科目	金融論	2後		2							1
	経営科学Ⅱ	2後		2		1					
ディレクション	経営学Ⅱ	2前		2			1				
ン領域(経済	経営情報論Ⅱ	2前		2		1					
経済と経営)	経営戦略論	2前		2		1					
	経営組織論	3前		2			1				
	国際経営論	2後		2		1					
	生活経済政策	2後		2			1				

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准 教	講	助	助	· 兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	マクロ経済学	2後		2							1
	ミクロ経済学	2後		2							1
	会計学Ⅱ	<b>3</b> 後		2			1				
自由選択科目	金融論	2後		2							1
付目・ディ	経営科学Ⅱ	2後		2		1					
・ディレクション領域	経営学Ⅱ	<b>3</b> 前		2			1				
へ 経	経営情報論Ⅱ	<b>3</b> 前		2							1
済と経営)	経営戦略論	2前		2		1					
	経営組織論	3前		2			1				
	国際経営論	2後		2							1
	生活経済政策	2後		2			1				

		配	Ĺ	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼 任				配	Ě	单位娄	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	・兼担	科 区	日:分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
自由選択る	社会に学ぶ 仕事の現場を知る A(現代金融システ	1後~ 4後 2前		2	B	1	12	BILL	+2	7		E 造 扎	自由選択	社会に学ぶ 仕事の現場を知る	1後 ~ <b>4</b> 後 2前	119	2		1	18	DILL	72	7	
科目・キャリア教育科	A(現代金融ンステム論) 仕事の現場を知る B(マスコミ論)	-後		2		1					3	目・コューラ	・ヨ・キャリ	A(現代金融システム論) 仕事の現場を知る B(マスコミ論)	2前 •後 2前 •後		2		2					3
科目	仕事の現場を知る C(情報通信ネット ワーク)	2前 • <b>後</b>		2		1					1	和 E	計	仕事の現場を知る C(情報通信ネット ワーク)	2前 • <b>後</b>		2		1					1
自由	社会情報学特別 講義A	1前 ~後		2							1	Ē		社会情報学特別 講義A	1前 ~ 4後		2							1
<b>`22</b>	社会情報学特別 講義B	1前 4後		2							1	日 遺 打 毛	選択科	社会情報学特別 講義B	1前 ~ 4後		2							1
特別講義科目	社会情報学特別 講義C	1前 ~ 4後		2							1	华 另 記 章 和 目	特別講義科 1	社会情報学特別 講義C	1前 ~ 4後		2							1
	社会情報学特別 講義D	1前 ~ 4後		2							1			社会情報学特別 講義D	1前 ~ 4後		2							1
社会情報学ゼミ	社会情報学ゼミ	3通	4			13	10	1				本名が	社会青報学ゼミ	社会情報学ゼミ	3通	4			14	13	1			
卒業研究	卒業研究	4通	4			13	10	1				<u>三</u> 有。 字	卒業研究	卒業研究	4通	4			14	13	1			

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
  - その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字</u>としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

#### 【平成28年度】

- ・担当教員の都合により「学びのリテラシー(1)」の専任教員の配置を「教授4」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「学びのリテラシー(2)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授3」「兼任兼担教員46」から 「教授4」「准教授2」「兼任兼担教員50」に変更。
- ・担当教員の都合により「英語」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「兼任兼担教員4」から「教授1」「准教授1」 「兼任兼担教員5」に変更。
- ・担当教員の都合により「就業力」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教育課程充実のため「人文科学科目群」の兼任兼担教員を12名から16名に変更。
- ・担当教員の退職により「社会科学科目群」の専任教員の配置を「教授3」「准教授3」から「教授2」「准教授3」に変更。
- ・担当教員の都合により「自然科学科目群」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「兼任兼担教員13」から「教授1」 「准教授1」「兼任兼担教員24」に変更。
- ・教育課程充実のため「健康科学科目群」の兼任兼担教員を17名から18名に変更。
- ・教育課程充実のため「外国語教養科目群」の兼任兼担教員を11名から14名に変更。
- ・教育課程充実のため「総合科目群」の兼任兼担教員を16名から29名に変更。
- ・担当教員の都合により「社会情報学基礎論」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」から 「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・「研究方法基礎論」の専任教員の採用予定日が10月1日付けとなったため、着任までの間、兼任教員にて対応。
- ・学生にわかりやすくするため授業科目名称の「1」を「Ⅰ」,「2」を「Ⅱ」,「3」を「Ⅲ」にそれぞれ変更。
- ・教育課程充実のため「専門英語短期派遣」の配当年次を「2後」から「1・2・3・4前・後」に拡大。
- ・教育課程充実のため「社会に学ぶ」の配当年次を「1後~3後」から「1後~4後」に拡大。
- ・教育課程充実のため「仕事の現場を知るA」の配当年次を「2前」から「2前・後」に拡大。
- ・教育課程充実のため「仕事の現場を知るB」の配当年次を「2後」から「2前・後」に拡大。
- ・教育課程充実のため「仕事の現場を知るC」の配当年次を「2前」から「2前・後」に拡大。
- ・教育課程充実のため「社会情報学特別講義A・B・C・D」の配当年次を「2前~3後」から「1前~4後」に拡大。
- ・担当教員の退職等により「社会情報学ゼミ」「卒業研究」の担当教員の配置を「教授14」「准教授10」「講師2」から 「教授13」「准教授10」「講師」に変更。

#### 【平成29年度】

- ・担当教員の都合により「学びのリテラシー(2)」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」「兼任兼担教員50」から 「教授3」「准教授2」「兼任兼担教員49」に変更。
- ・教育課程充実のため「英語」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼任兼担教員5」から「教授1」「准教授2」 「兼任兼担教員5」に変更。
- ・教育課程充実のため「スポーツ・健康」の兼任兼担教員の配置を11名から13名にに変更。
- ・担当教員の都合により「就業力」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により「社会科学科目群」の「准教授1」「兼任兼担教員3」減。
- ・担当教員の昇任及び都合により「自然科学科目群」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼任兼担教員24」から 「教授2」「兼任兼担教員12」に変更。
- ・教育課程充実のため「健康科学科目群」の兼任兼担教員を18名から25名に変更。
- ・担当教員の都合及び教育課程充実のため「外国語教養科目群」の「准教授1」減及び兼任兼担教員を14名から16名に変更。
- ・担当教員の都合及び教育課程充実のため「総合科目群」の「教授1」減及び兼任兼担教員を29名から33名に変更。
- ・教育課程充実のため「社会情報学基礎論」の専任教員を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授2」「准教授1」「講師1」 に変更。
- ・担当教員の都合により「研究方法基礎論」の担当教員を「兼任兼担教員1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「研究方法C」の担当教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「データ解析基礎」「データ解析A」の担当教員を「講師1」から「准教授1」に変更。 ・担当教員の都合により「データ解析B」の担当教員を「兼任兼担教員1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「データベース」の担当教員を「准教授1」から「教授1」
- ・担当教員の都合により「情報の数理」の担当教員を「教授1」「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「記号論理学」の担当教員を「教授1」から「兼任兼担教員1」に変更。
- ・担当教員の都合により「情報セキュリティ」の担当教員を「教授1」「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程充実のため「専門英語短期派遣」の担当教員を「兼任兼担教員1」から「教授1」「准教授2」に変更。
- ・教育課程充実のため「社会情報学プロジェクトA-I」の担当教員に「准教授1」を追加。
- ・担当教員の都合により「社会情報学プロジェクトA-Ⅱ」の担当教員を「教授2」「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「社会情報学プロジェクトB」の担当教員を「教授2」「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「経営情報論 I 」の担当教員を「教授 1 」から「兼任兼担教員 1 」に変更。
- ・担当教員の昇任により「意思決定学」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「環境政策」の担当教員を「教授3」「准教授1」から「教授3」「兼任兼担教員1」に変更。
- ・担当教員の都合により「生物環境論」の担当教員を「教授1」から「兼任兼担教員1」に変更。
- ・担当教員の都合により「公法ケース・スタディ」の担当教員を「教授1」「准教授1」から「准教授1」に変更。
- 教育効果を高めるため「会計学Ⅱ」の配当年次を「2後」から「3後」に変更。
- ・教育効果を高めるため「経営学Ⅱ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- ·教育効果を高めるため「経営情報論II」の配当年次を「2前」から「3前」に変更
- ・担当教員の都合により「経営情報論Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「兼任兼担教員1」に変更。
- ・担当教員の都合により「国際経営論」の担当教員を「教授1」から「兼任兼担教員1」に変更。
- ・教育課程充実のため「仕事の現場を知るA」の兼任兼担教員を7名から9名に変更。
- ・教育課程充実のため「仕事の現場を知るB」の担当教員を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育課程充実のため「社会情報学ゼミ」「卒業研究」の担当教員を「教授13」「准教授10」「講師1」から | 教授14」 | 准教授13」「講師1」に変更。

# 【平成30年度】

- ・教育課程充実のため「学びのリテラシー(2)」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」「兼任兼担教員49」から 「教授4」「准教授2」「兼任兼担教員50」に変更。
- ・担当教員の都合により「英語」の兼任兼担教員を5名から4名に変更。
- ・担当教員の都合により「情報」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・教育課程充実のため「自然科学科目群」の兼任兼担教員を12名から16名に変更。
- ・担当教員の都合により「健康科学科目群」の兼任兼担教員を25名から16名に変更。
- ・担当教員の都合により「外国語教養科目群」の兼任兼担教員を「兼任兼担教員16」から「兼任兼担教員19」 に変更。
- ・教育課程充実のため「総合科目群」に「教授2」「准教授1」を追加。
- ・担当教員の昇任により「情報社会基礎論」「情報メディア基礎論」「ソーシャルメディア論」の担当教員を「講師1」から 「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により「社会情報学基礎論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」から「教授2」 「准教授2」に変更。
- ・担当教員の配置換により「異文化コミュニケーション」「異文化コミュニケーション論」の担当教員を「兼任兼担教員1」 から「教授1」に変更。
- ・担当教員の都合により「情報倫理」の担当教員を「兼任兼担教員1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため「基礎数学B」の配当年次を「1前」から「1後」に変更するとともに、担当教員を「兼任兼担教員1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため「情報処理基礎」の担当教員に准教授1名を追加。
- ・担当教員の都合により「プログラミング I 」の専任教員等の配置を「教授 2 」「助手 1 」「兼任兼担教員 1 」から「教授 2 」「助手 1 」に変更。
- ・教育課程充実のため「社会情報学プロジェクトB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授3」「兼任兼担教員1」 に変更。
- ・担当教員の都合により「情報政治学」の担当教員を「兼任兼担教員1」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の都合により「経営情報論 I 」の担当教員を「兼任兼担教員 1 」から「准教授 1 」に変更。
- ・教育効果を高めるため「環境アセスメント」の担当教員に兼任兼担教員1名を追加。
- ・担当教員の都合により「社会情報学ゼミ」「卒業研究」の担当教員を「教授14」「准教授13」「講師1」から「教授14」「准教授14」「助教1」に変更。
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

# (2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣 行
16 科目	135 科目	科目	151 科目	16 科目 [ 0 ]	135 科目 [ 0 ]	科目 [ 0 ]	151 科目 [ 0 ]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

### (3) 未開講科目 〈該当なし〉

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

#### (4) 廃止科目 〈該当なし〉

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	n/
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	151	_	0	90

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

# 3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				5	容		備考
(1)		区	分		専	用	共	用	<b>‡</b>	も用する 学校等の	他の 専用		<del></del>	
校		校翁	舎 敷 均	t <u>.</u>		383, 258㎡ <del>378, 325</del> ㎡		(	)m²		С	)m²	383, 258 m <del>378, 325</del> m	な世代モビリティ社会実 装研究センターの整備に 伴う変更 (30)
•		運動	<b>力場用</b> 地	j		93, 558m²		(	m²		C	)m²	93, 558m	·借用面積: 8,696㎡
地		小	뒮	+		471, 883m²		(	)m²		C	)m²	471, 883 m	借用期間: 1年更新
等		そ	の他	į		155, 218㎡ <del>160, 151</del> ㎡		(	)m²		C	)m²	155, 218m <del>160, 151</del> m	
		合	計	-		632, 034㎡		(	)m²			)m²	632, 034m	
					専	用	共	用		も用する 学校等の			計	· ·借用面積∶
(2) 校			舎			172, 682㎡ <del>169, 929</del> ㎡		(	)m <sup>*</sup>		0 m²		172, 682 m <del>169, 929</del> m	4, 561㎡ 借用期間: 11年更新
						, <mark>682</mark> ㎡) <del>, 929</del> ㎡)	(	0 m²)	(		0 m²)		(172, 682㎡) ( <del>169, 929</del> ㎡)	次世代モビリティ社会実 装研究センターの整備に 伴う変更 (30)
				講	義室	演習	室 室	実験実	習室	情報処	<b>见理学</b> 習	施設	語学学習施設	
(3) 教		室	等		0(	)室	29室		952室			6室	2室	大学全体
						7至	23至		902至		助職員	4人) (	補助職員 1人)	
(4) 専	任教	女員研究	室			新設学部	等の名称				室		数	
				1		社会情報学部	部社会情報学科				29	9	室	
	š	新設学	<b>虾</b> ′		図 書	学術	1			視聴覚	<b>党</b> 資料	機械・器	.具 標 本	
(5)	1	の名		〔う	ち外国書〕	〔うちタ								学部単位での特定
				220 64	6 [53, 458]	₩ 8, 405 〔	種 1 2107	〔うちか 5,842〔!			点 2,640		点 点	不能なため, キャンパス全体の数
図 書 •	社	会情報	学部	(330	, 122 [53, 385] , <del>347</del> [ <del>53, 295</del> ]	(8, 285 [	1, 189〕)	(5, 842 [		(2, 6	ŕ	(65)	(0)	図書、学術雑誌の購入 に伴う変更(30)
設 備				330, 64	6 (53, 458)			5, 842 (	5, 273]		2, 640		65 C	
		計		(330 ( <del>329</del>	, 122 〔53, 385〕 <del>, 347</del> 〔 <del>53, 295</del> 〕	(8, 285 [ (8, 063 [		(5, 842 [	5, 273])	(2, 6	629)	(65)	(0)	
(6) 図		書	館		面	積		閲覧座	医席 数		収	納可	能 冊 数	
(0) 🗵			םע			9, 75	)m²			388席			350, 530 <del>Ⅲ</del>	大学全体
(7) 体		育	館		面	積			体育館以	外のスポ	ピーツ施	設の概要		
						5, 71	B㎡ 野球場	2面,陸上競	技場1面,	サッカー	-・ラグ b	ご一場2面,	テニスコート12面	大学全体
		経費	Σ		分	開設年度	完成年度		分	開設前	前年度	開設年原		1
(8) 経費の	) <del>[</del> ]	積り			研究費等	千円			購入費		千円		千円 千円	4
積り及	び			Ī	究 費 等	千円	1		購入費		千円		f円	1
維持方の 概	要	Ļ	1 人当 J + A	第	1年次	第 2 年次 ————————————————————————————————————	第  	3年次千円	第4年	F次 ——— 千円	第、	5 年次 ———— 千円	第6年次	-
	ŀ	納住		DIN O	千円 維持方法の	<del></del>	-							
		子玍	祔忊筮	以外のi										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	群	馬	ţ	学									備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年		人	年次		人		倍						
				人										
教育学部														
学校教育教員養成課程	4	2	20	-		880	学士 (教育学)	1. 05	平成11年度	群馬県前橋	市荒牧町	丁四丁目2番地		
<u>社会情報学部</u>				3年次			<del>224</del> _L						7	
情報行動学科	4			3年次		-	学士	-	平成18年度		同上		平成28年よ 「学生募集停	
情報社会科学科	4			3年次		-	学士	-	平成18年度		同上		丁二分未下。 	ш.
<u>社会情報学科</u>	4	1	00	20		320	学士	1. 03	平成28年度		同上	-		
医光如														
医学科	6	1	08	2年次		723	学士	1. 00	昭和24年度	群軍優益婚士	177 fn mr	TH 20 - 22		
医子科 	Ü	'	UO	15		123	(医学)	1.00	昭和24年及	群馬柴削備币	떠시피 프	1839-22		
保健学科	4	1	60	3年次 10		660	学士 (看護学) (保健学)	1. 00	平成8年度		同上	<u>:</u>		
工学部														
(昼間コース)														
応用化学・生物化学科	4	_		_		_	学士	-	平成19年度	群馬県桐生i	市天神町	一丁目5番1号	]	
機械システム工学科	4	_		_		_	学士	-	平成1年度		同上	<u>.</u>		
生産システム工学科	4	_		_		_	学士	-	平成19年度		同上	<u>.</u>		
環境プロセス工学科 環境プロセスエ学科	4	_		_		_	学士	-	平成19年度		同上	<u>.</u>	平成25年よ 学生募集停	
社会環境デザイン工学科	4	_		-		_	学士	-	平成19年度		同上	<u>.</u>		
情報工学科	4	_		-		_	学士	-	平成1年度		同上	<u>:</u>		
(夜間主コース)														
生産システム工学科	4	_		-		_	学士 <sup>(工学)</sup>	-	平成19年度		同上	<u>:</u>		
													_	
理工学部														
(昼間コース)														
化学・生物化学科	4	1	60	-		640	<b>学士</b> (理工学)	1. 01	平成25年度		同上	<u>.</u>		
機械知能システム理工学科	4	1	10	-		440	<b>学士</b> (理工学)	1. 03	平成25年度		同上	<u>:</u>		
環境創生理工学科	4		90	-		360	(埋工字)	1. 01	平成25年度		同上	<u>:</u>		
電子情報理工学科	4	1	20			480	<b>学士</b> (理工学)	1. 04	平成25年度		同上	<u>:</u>		
学科共通	2	_		3年次 30		60	<b>学士</b> (理工学)	-	平成25年度		同上	<u>.</u>		
(夜間主コース)														

総合理工学科	4	30	-	120	<b>学士</b> (理工学)	1. 04	平成25年度	同上	
教育学研究科									
〈修士課程〉									
障害児教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	0. 99	平成18年度	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	
教科教育実践専攻	2	20	_	40	修士 (教育学)	1. 12	平成20年度	同上	
〈専門職学位課程〉					(#)				
教職リーダー専攻	2	16	-	32	教職修士 (専門職)	0. 87	平成20年度	同上	
社会情報学研究科									
〈修士課程〉									
社会情報学専攻	2	14	-	28	修士 (社会情報学)	0. 78	平成10年度	同上	
医学系研究科									
〈修士課程〉									
生命医科学専攻	2	15	_	30	修士	0. 56	平成19年度	群馬県前橋市昭和町三丁目39-22	
〈博士課程〉					(工即医符子)				
医科学専攻	4	57	-	228	博士	0. 94	平成15年度	同上	
/D / <del>A 24</del> TT (*)									
保健学研究科 〈博士前期課程〉									
保健学専攻	2	50		100	修士	1 01	亚世22年度	同上	
	۷	50	_	100	(保健学)	1.01	平成23年度	旧土	
保健学専攻	3	10		30	博士	1 12	平成23年度	同上	
体性子导攻 	3	10	_	30	(保健学)	1. 13	平成23年度	旧土	
工学研究科									
〈博士後期課程〉									
工学専攻	3	-	-	-	<b>博士</b> (工学)	-	平成19年度	群馬県桐生市天神町一丁目5番1号	】平成25年より 」学生募集停止
理工学府									
〈博士前期課程〉									
理工学専攻	2	300	_	600	<b>修士</b> (理工学)	1. 08	平成25年度	同上	
〈博士後期課程〉					(唑工子)				
理工学専攻	3	39	-	117	博士	0. 75	平成25年度	同上	
(注意)課程認定								込して	
	(注意)学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は 「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

大学の名称											備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入党	編入学 定 員	収 容定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年	,	年次 人	J		倍						

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>AC対象学部等含む</u>)について,それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

# 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留意事項等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を( ) 書き</u>で付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

# 7 その他全般的事項

## <社会情報学部 社会情報学科>

(1) 設置計画変更事項等 <該当なし>

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況

群馬大学社会情報学部評価委員会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

開催実績 2回(平成29年度実績)

c 委員会の審議事項等

本学部における教育研究水準の向上及び活性化を図るため、教育研究活動等に関する点検・評価及び群馬大学の職員以外の者による評価・検証を行い、もってその社会的責任を果たすことを目的とする。

- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - ①学生との懇談会
    - ②社会情報学部 F D講習会 (プロジェクト科目・履修証明プログラム社会人のためのデータ解析)
    - ③ベストティーチャー賞優秀賞受賞者等による公開授業
    - ④授業評価アンケートの教授会での公表
  - b 実施方法
    - ・標記評価委員会等を中心に、アンケート、懇談会等を実施し、学生等の意見を聴取した。
  - c 開催状況(教員の参加状況含む)
    - ①1回(参加者 大学側:7人 学生側:10人)
    - ②2回(参加者 37人)
  - ③3回(参加者 のべ18人)
  - ④2回(参加者 のべ54人)
  - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
    - ・FD及び懇談会結果・アンケート実施結果を、授業改善の参考資料とした。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・前期及び後期の学期末に実施した。
  - b 教員や学生への公開状況, 方法等
    - ・教員 アンケート結果について教授会にて周知
    - ・学生 学内掲示板に掲示して周知
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

# (3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
  - ・設置の趣旨・目的の達成状況については、社会情報学部担当の各教員が講義、演習、実習等を平成28年4月より実施しており、当初設定のカリキュラムどおりに履行されている。
- ② 自己点検・評価報告書
  - a 公表 (予定) 時期
    - ・中期計画・年度計画に基づく自己点検・評価を年2回(中間・最終)実施し、全学委員会の大学評価室に報告。

また、自己点検・評価を大学評価室で実施。

- b 公表方法
  - ・大学評価室のウェブサイトにて公開。
- ③ 認証評価を受ける計画
  - ・平成27年度に評価機関(大学評価・学位授与機構)の評価を受審。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
  - a ホームページに公表(予定)の有無 ( (有) ・ 無
  - b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 ( 平成31年 3月 1日 )
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。